

8月10日は焼き鳥の日！ 1万人調査で人気No.1は「正肉（モモ、ムネ）」 食べる場所は今後「居酒屋」から「焼き鳥専門店」にシフトか

株式会社リクルートライフスタイル（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：浅野 健）の外食市場に関する調査・研究機関「ホットペッパーグルメ外食総研」（<https://www.hotpepper.jp/ggs/>）は、焼き鳥・鳥料理についてのアンケートを実施しましたので、その結果を発表いたします。

【要約】

POINT① 焼き鳥のイメージは「大衆的・気軽」×「ヘルシー・健康的」 ・・・ P3-4

- 主な鶏料理のイメージを聞くと、焼き鳥は「大衆的・気軽」で高スコア（「近い」+「やや近い」計86.6%）。女性を中心に「ヘルシー・健康的」なイメージも高い。

POINT② 好きな焼き鳥の種類、人気トップ3は「正肉（モモ、ムネ）」 「ネギ間」「つくね」 ・・・ P5-7

- 好きな焼き鳥の種類は、1位「正肉（モモ、ムネ）」（69.8%）、2位「ネギ間」（60.0%）、3位「つくね」（53.3%）。
- タレで食べたい焼き鳥、トップ3は「正肉（モモ、ムネ）」「つくね」「ネギ間」。
- 塩で食べたい焼き鳥、トップ3は「正肉（モモ、ムネ）」「ネギ間」「皮」。

POINT③ 焼き鳥を食べている場所、最多は「居酒屋」だが、今後は「焼き鳥専門店」に興味。専門店への期待は「味付けのよさ」 ・・・ P8-10

- 過去1年間に焼き鳥を食べた場所、最多は「居酒屋」で42.7%。
- 今後焼き鳥を食べたい場所、最多は「焼き鳥専門店」で55.5%。
- 「焼き鳥専門店」に期待することは、「味付けのよさ」（65.9%）、「鶏そのものの味や鮮度」（64.6%）、「種類が豊富」（41.7%）。

【解説】

“国民的”鶏料理・焼き鳥について、イメージやどのような種類、味付けが好きか、などを調査。イメージとしては「大衆的・気軽」な鶏料理No.1であり、さらに女性を中心にヘルシーなイメージも強いようだ。好きな種類は「正肉（モモ、ムネ）」がタレ・塩味共に人気No.1となるものの、2位以下は性年代や圏域、味付けにより差があり、たとえばタレでは「つくね」が2位、塩では「ネギ間」が2位であった。また、首都圏では「レバー」が、関西圏では「せせり」が人気など、地域差も見られた。現状最も食べられている場所は「居酒屋」だが、今後は「焼き鳥専門店」で食べたい人が多かった。手羽先専門店の本場である東海圏では、焼き鳥を外食で食べたい人がやや少なめという傾向が見られた。

【本件に関するお問い合わせ先】

<https://www.recruit-lifestyle.co.jp/support/press>

調査概要と回答者プロフィール

- ◎調査名 外食市場調査(2018年5月分)
- ◎調査方法 インターネットによる調査
首都圏、関西圏、東海圏における、夕方以降の外食および中食のマーケット規模を把握することを目的に実施した調査(外食マーケット基礎調査)の中で、焼き鳥の購入場所や購入頻度が増えた場所、焼き鳥専門店に期待すること、焼き鳥のタネについて、鶏料理のイメージなどを聴取
- ◎調査対象 首都圏(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県)、関西圏(大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県)、東海圏(愛知県、岐阜県、三重県)に住む20~69歳の男女(株式会社マクロミルの登録モニター)

■事前調査

- ①調査目的 本調査の協力者を募集するために実施
- ②調査時期 2018年4月20日(金)~2018年5月1日(火)
- ③調査対象 首都圏、関西圏、東海圏に住む20~69歳の男女(株式会社マクロミルの登録モニター)
- ④調査内容 本調査への協力意向、普段の外食頻度、普段の中食頻度
- ⑤配信数 392,052 件
- ⑥回収数 37,756 件
- ⑦本調査対象者数 17,609 件

◆本調査対象者の割付について

- ・本調査では、回答者の偏りをできるだけなくすために、割付をおこなって回収した。
- ・性年代別10区分×地域別25区分(首都圏地域13区分、関西圏地域8区分、東海圏地域4区分)=250セル について、平成28年人口推計(総務省)に基づき割付をおこなった。
- ・本調査の目標回収数は、首都圏4,000s、関西圏2,000s、東海圏2,000s、合計8,000sとした。

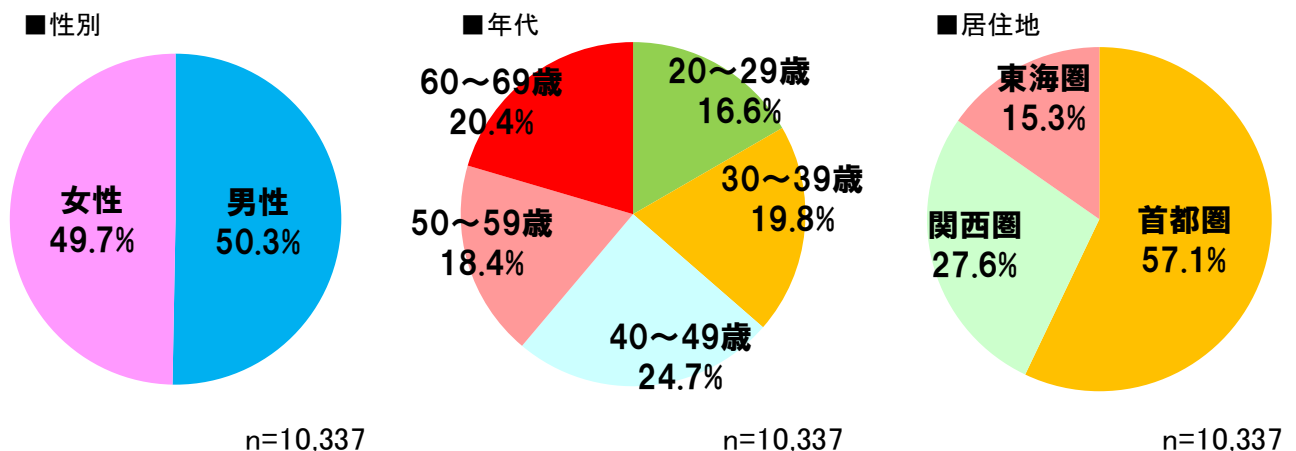
■本調査

- ①調査方法 ・事前調査で本調査への協力意向が得られたモニターの中から、脱落率を加味して設定した必要数をランダムに抽出し、本調査の案内メールを通知。
- ②調査期間 2018年6月1日(金)~2018年6月6日(水)
- ③配信数 13,345 件
- ④回収数 10,410 件 (回収率 78.0 %)
- ⑤有効回答数 10,337 件 (首都圏 5,226 件、関西圏 2,723 件、東海圏 2,388 件)
- ※回収された票のうち、自由回答コメントから、趣旨に合わない判断された票を無効としたほか、事前調査時の普段の外食・中食頻度の回答と、本調査時の1カ月間の外食・中食回数が著しく乖離している場合、事前調査時の住所と、本調査時の住所が、圏域を越えて変わっている場合を無効とした。

◆集計方法について

- ・本調査結果は、平成28年人口推計(総務省)における割付(性年代別10区分×地域別25区分=250セル)別の構成比に合わせてサンプル数を補正したウェイトバック集計をおこなっている。
- ・補正後のサンプル数は次の通り。
3圏域・計 10,337 件(首都圏: 5,900 件、関西圏: 2,856 件、東海圏: 1,581 件)

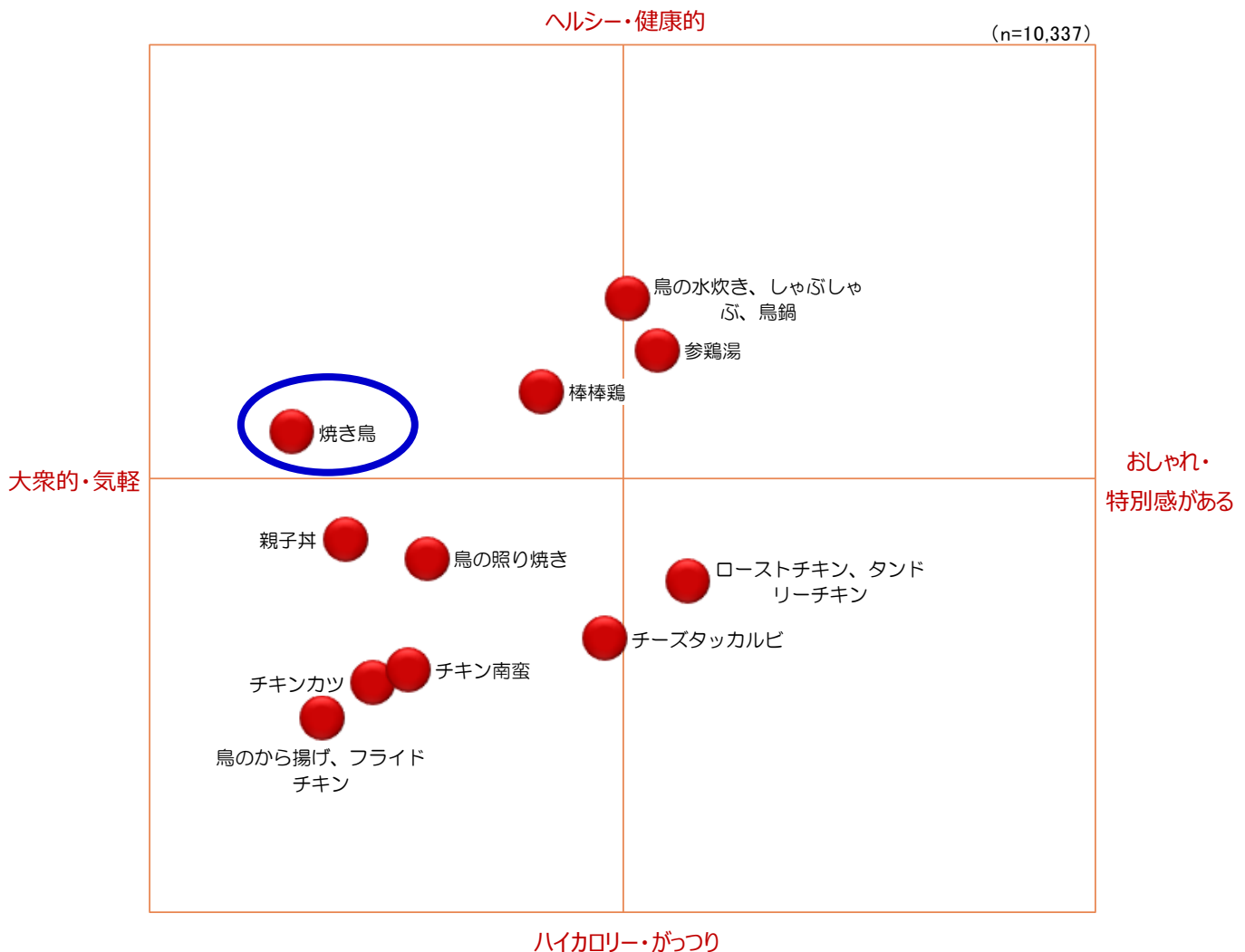
◆回答者プロフィール(ウェイトバック後)



1. 鶏料理の中で、焼き鳥は「大衆的・気軽」な料理の代表格！

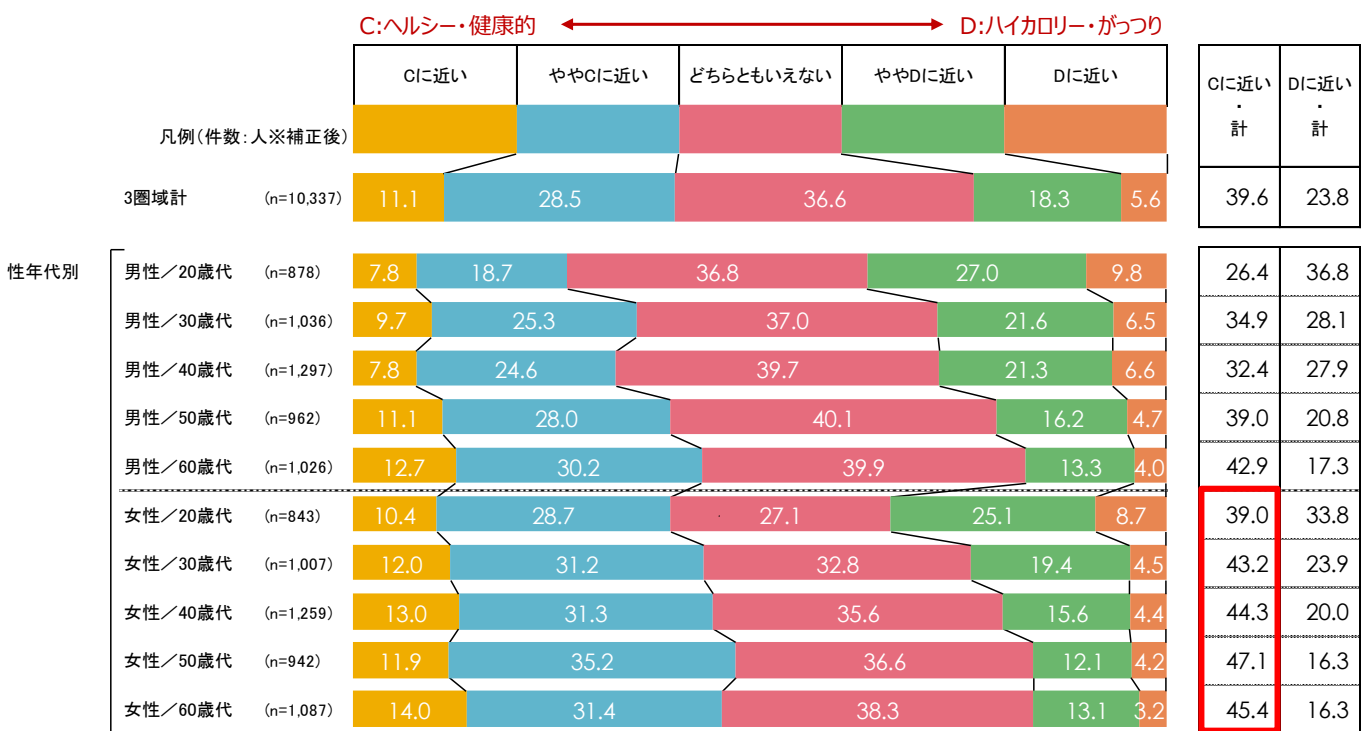
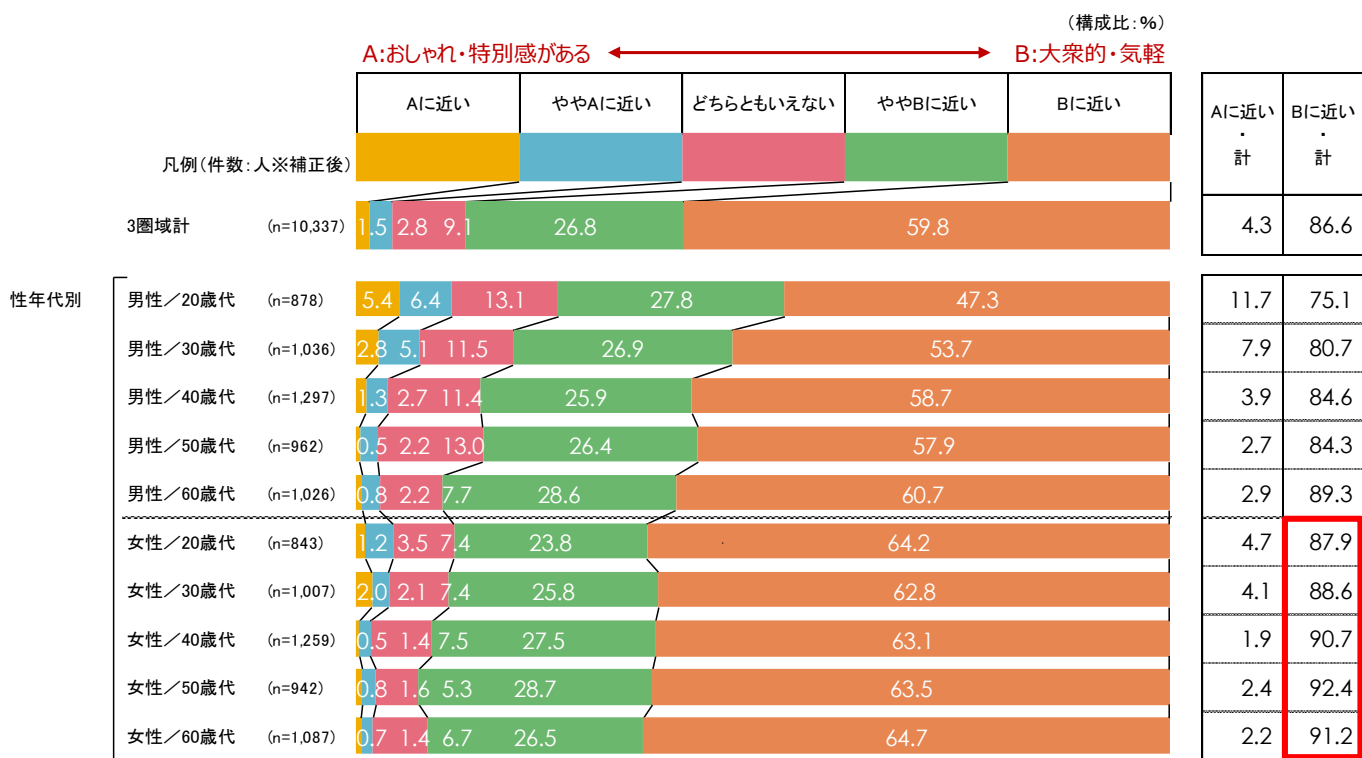
主な鶏料理について、「おしゃれ・特別感がある」または「大衆的・気軽」と、「ヘルシー・健康的」または「ハイカロリー・がっつり」の2軸でイメージを聞き、回答をポジショニングマップで示した。焼き鳥は「大衆的・気軽」のスコアが他のどの鶏料理よりも高く、庶民の味としてのポジションを確立していることがわかる。同じく「大衆的・気軽」のスコアが高い「鳥のから揚げ、フライドチキン」は、「ハイカロリー・がっつり」の要素が全鶏料理の中で最高となっている一方、焼き鳥はやや「ヘルシー・健康的」側にある。参考で次ページに焼き鳥についての性年代別の回答率を示す。女性は男性よりも焼き鳥に「大衆的・気軽」を感じている人がやや多く、さらに「ヘルシー・健康的」なイメージを持っている人が多い傾向だ。

■ 鶏料理のイメージ（全体／それぞれ単一回答）



※算出方法：それぞれの鶏料理について、A（おしゃれ・特別感がある）に近い=10点、ややAに近い=5点、どちらともいえない=0点、ややB（大衆的・気軽）に近い=-5点、Bに近い=-10点として横軸の数値を算出。C（ヘルシー・健康的）に近い=10点、ややCに近い=5点、どちらともいえない=0点、ややD（ハイカロリー・がっつり）に近い=-5点、Dに近い=-10点として縦軸の数値を算出。算出した数値をもとに、散布図上にプロットしている。

■ (参考) 焼き鳥のイメージ (全体/単一回答)



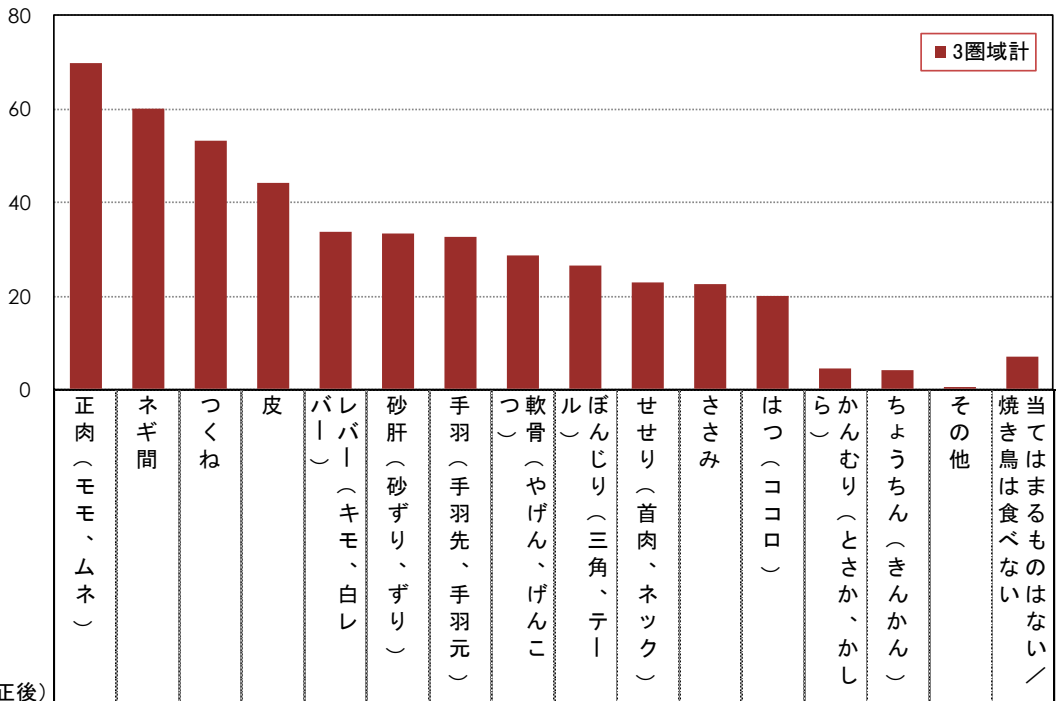
2. 焼き鳥の種類、人気トップ3は「正肉（モモ、ムネ）」「ネギ間」「つくね」。

首都圏では「レバー」、関西圏・東海圏では「せせり」がそれぞれ人気

好きな焼き鳥の種類については、最多が「正肉（モモ、ムネ）」の69.8%。続いて「ネギ間」が60.0%、3番目には「つくね」が53.3%と支持を集めた。性年代別で上位の順位が大きく入れ替わるということはなかったが、唯一60代男性で1位が「ネギ間」であることや、20・30代女性で2位に「つくね」が選ばれていること、また、20代男性の3位が「皮」という部分が、全体ランキングとの差異であった。圏域別では、首都圏で「レバー」の人气が、関西圏・東海圏で「せせり」の人气が、それぞれ他の圏域よりも高かった。

■好きな焼き鳥の種類（全体／複数回答）

構成比(%)



(件数:人※補正後)

		3圏域計	10,337	69.8	60.0	53.3	44.0	33.7	33.2	32.6	28.7	26.6	22.8	22.7	19.9	4.6	4.1	0.4	7.0
性年代別	男性／20歳代	878	64.4	51.6	44.2	46.8	24.0	27.6	22.3	25.7	25.3	20.5	18.7	16.1	5.0	3.9	0.1	11.3	
	男性／30歳代	1,036	69.8	58.5	52.7	51.8	30.7	36.3	28.7	31.9	30.1	28.6	24.7	21.9	6.8	5.2	0.4	8.0	
	男性／40歳代	1,297	71.8	62.6	57.5	56.3	34.8	33.2	32.9	32.0	29.7	23.7	25.5	23.7	5.7	4.8	0.5	5.7	
	男性／50歳代	962	70.4	64.4	56.1	54.8	44.7	38.2	39.3	30.9	28.4	24.7	23.5	23.9	4.6	5.6	0.3	5.5	
	男性／60歳代	1,026	63.2	64.3	48.1	46.4	43.8	34.9	36.8	26.2	19.2	15.3	19.8	22.8	3.1	3.8	-	8.8	
	女性／20歳代	843	69.1	46.4	54.6	44.3	25.1	35.4	25.4	31.8	35.4	28.7	25.6	19.3	3.8	2.8	0.5	4.2	
	女性／30歳代	1,007	73.4	56.5	56.8	42.3	28.7	40.3	31.9	35.0	34.8	31.0	26.5	23.1	5.7	4.5	0.8	4.1	
	女性／40歳代	1,259	73.2	61.7	58.0	39.3	34.8	33.0	37.6	31.5	28.9	26.2	26.7	18.3	5.1	4.3	0.5	4.4	
	女性／50歳代	942	73.2	65.6	55.7	32.0	34.9	29.1	34.3	21.4	22.1	18.1	20.5	14.7	3.5	3.8	0.7	6.2	
	女性／60歳代	1,087	67.5	64.2	46.8	25.1	32.4	24.6	32.9	19.9	12.8	11.5	14.2	14.2	2.0	1.7	0.5	12.0	
圏域別	首都圏	5,900	70.5	62.0	54.9	44.5	39.1	32.9	31.5	30.2	29.5	19.0	22.1	20.9	6.3	4.8	0.5	6.1	
	関西圏	2,856	69.6	58.3	51.9	44.1	27.0	34.7	33.8	27.9	22.7	28.2	24.5	20.4	2.3	3.0	0.4	7.8	
	東海圏	1,581	67.5	55.6	49.8	41.9	25.5	31.9	34.1	24.8	22.8	27.2	21.8	15.3	2.2	3.5	0.2	8.7	

単位:構成比(%)

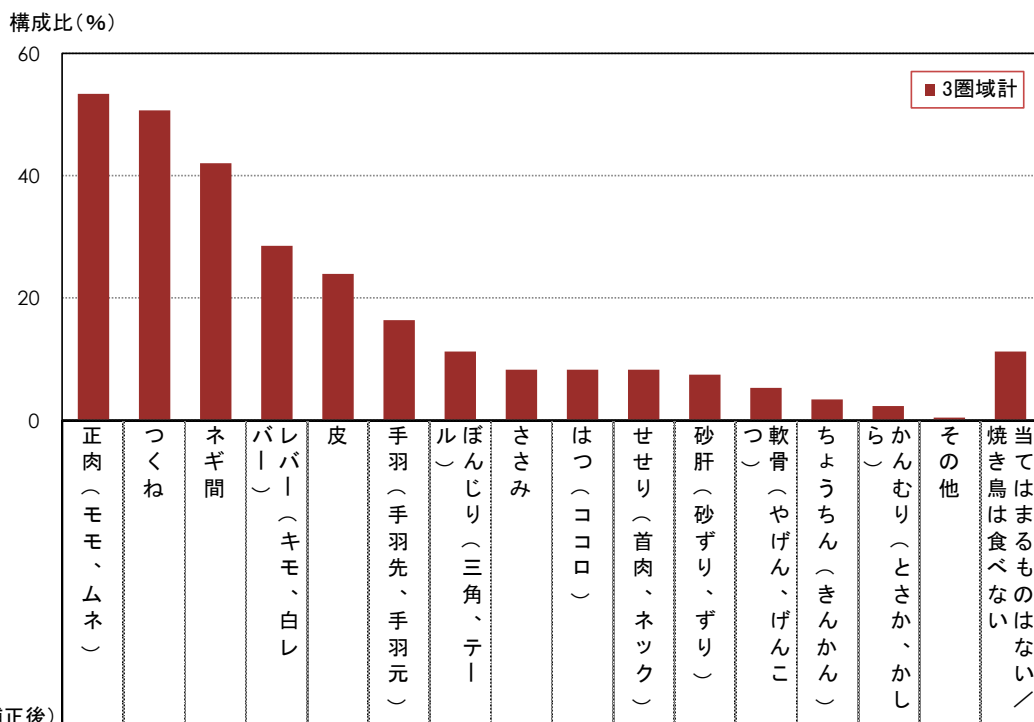
太字 3圏域計より5ポイント以上高い項目

3圏域計より5ポイント以上低い項目

3. タレで食べたい焼き鳥1位は「正肉（モモ、ムネ）」、「つくね」が2位に浮上

次に焼き鳥の代表的な味付けである、タレ・塩について、それぞれ好きな種類を挙げてもらった（塩味については次ページ参照）。タレのトップ3は、1位「正肉（モモ、ムネ）」で53.3%、2位は「つくね」で50.6%、3位は「ネギ間」で42.0%であった。全体ランキング（前ページ）と比べると「つくね」と「ネギ間」の順位が逆転している。性年代別では、30・40代女性で「つくね」、50・60代男性で「レバー」、20~40代男性で「皮」をタレで食べたいとする人が多く、傾向に違いがあった。また、圏域別では関西圏で「正肉（モモ、ムネ）」「ネギ間」が、東海圏で「手羽」が、それぞれタレで食べたい種類として他圏域より人気があった。

■ タレで食べたい焼き鳥の種類（全体／複数回答）



(件数:人※補正後)

		3圏域計	10,337	53.3	50.6	42.0	28.5	23.9	16.3	11.3	8.2	8.2	8.1	7.4	5.2	3.4	2.2	0.2	11.1
性年代別	男性／20歳代	878	53.9	42.8	41.5	21.5	31.0	16.1	13.3	10.6	8.3	10.1	9.6	8.0	3.5	3.8	-	-	14.1
	男性／30歳代	1,036	56.3	50.3	41.5	24.0	31.3	17.3	14.6	9.6	11.5	11.1	9.9	8.6	4.0	3.8	0.4	0.4	11.4
	男性／40歳代	1,297	54.2	51.9	45.0	27.6	31.0	17.1	13.6	8.5	9.1	9.4	7.2	5.4	3.8	2.6	0.3	0.3	10.6
	男性／50歳代	962	51.1	51.8	42.5	37.3	28.5	16.2	10.4	9.0	8.9	7.6	6.2	4.6	4.0	1.6	0.2	0.2	11.0
	男性／60歳代	1,026	47.3	40.5	41.4	33.8	21.7	17.0	9.0	9.5	8.8	6.4	9.2	5.4	2.6	1.8	-	-	14.8
	女性／20歳代	843	55.0	52.5	34.7	21.8	25.5	18.2	13.0	7.8	8.0	9.7	6.3	4.1	2.7	1.6	0.2	0.2	8.4
	女性／30歳代	1,007	54.9	56.2	40.0	24.4	22.5	16.4	13.9	7.7	8.3	8.1	6.4	4.3	3.6	2.3	0.3	0.3	8.3
	女性／40歳代	1,259	54.5	60.0	42.9	32.2	19.9	16.7	12.1	8.2	8.4	9.4	6.2	4.5	4.5	2.5	0.2	0.2	8.4
	女性／50歳代	942	53.1	53.6	43.1	31.8	15.5	13.5	7.6	5.8	5.0	5.0	5.5	3.3	3.2	1.6	0.2	0.2	10.9
	女性／60歳代	1,087	52.9	44.3	45.5	28.9	12.6	14.3	5.4	5.5	5.0	4.2	7.4	3.9	1.3	0.8	-	-	13.9
圏域別	首都圏	5,900	50.7	53.0	42.8	33.4	26.3	14.7	12.5	7.5	7.5	6.6	7.8	5.6	3.9	3.0	0.2	0.2	10.6
	関西圏	2,856	58.6	48.9	47.3	23.1	19.0	16.5	9.0	9.4	11.1	10.2	6.8	4.7	2.6	1.3	0.3	0.3	11.2
	東海圏	1,581	53.5	44.9	29.8	20.0	23.9	21.8	11.2	8.4	5.3	9.9	6.5	4.5	2.9	1.2	0.0	0.0	13.1

単位:構成比(%)

太字 3圏域計より5ポイント以上高い項目

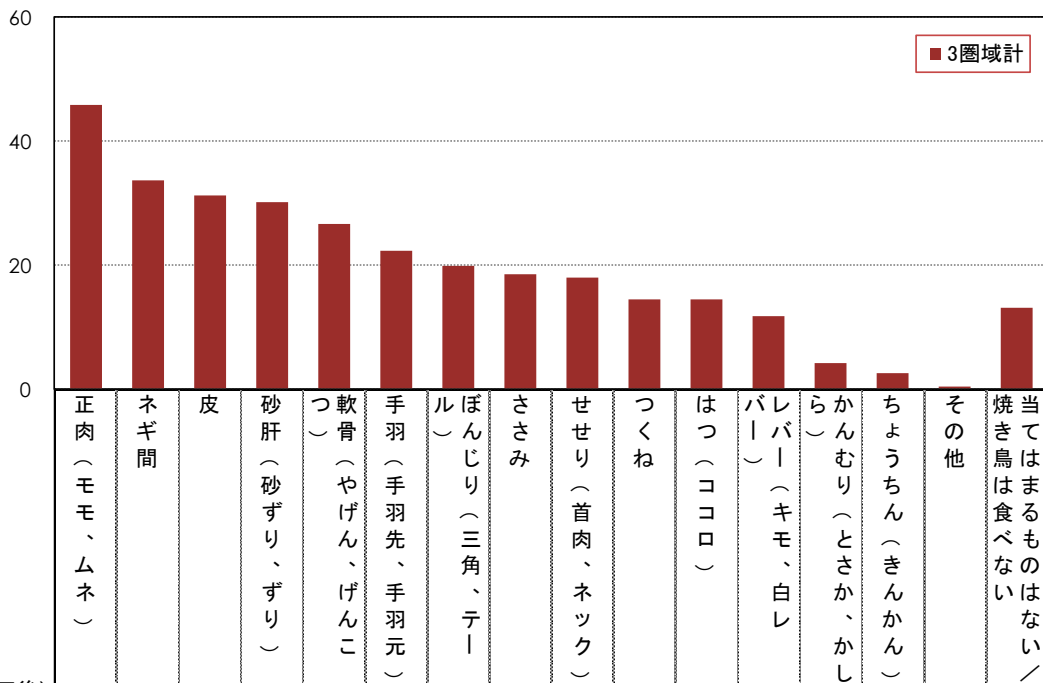
3圏域計より5ポイント以上低い項目

4. 塩で食べたい焼き鳥の種類トップ3は「正肉（モモ、ムネ）」「ネギ間」「皮」

塩味で食べたい焼き鳥の種類は、こちらも1位は「正肉（モモ、ムネ）」で45.8%、2位は「ネギ間」が33.6%、3位は「皮」が31.4%の支持を集めた。全体の順位との違いでは、「つくね」「レバー」などが順位を下けている一方、「皮」「砂肝」「軟骨」などが順位を上げた。全体的にはタレのほうがスコアが高めなことから、タレと塩では、ややタレのほうが多数派になっていると考えられる。性年代別では、40・50代女性で「正肉（モモ、ムネ）」「手羽」、40・50代男性で「皮」、20・30代女性で「ほんじり」「せせり」が他の性年代より高いなどの特徴が見られた。圏域別では、関西圏で「正肉（モモ、ムネ）」「ネギ間」が、東海圏で「手羽」「ほんじり」が、それぞれ他の圏域よりもスコアが低かった。

■ 塩で食べたい焼き鳥の種類（全体／複数回答）

構成比(%)



(件数:人※補正後)

3圏域計		10,337	45.8	33.6	31.4	30.2	26.7	22.2	19.8	18.6	18.0	14.6	14.4	11.7	4.3	2.5	0.3	13.0
性年代別	男性／20歳代	878	41.9	32.0	34.7	27.2	23.5	14.1	19.5	15.7	17.3	18.5	12.0	13.3	4.5	2.5	0.3	14.4
	男性／30歳代	1,036	45.9	33.9	36.1	33.2	30.0	18.4	23.0	20.7	21.8	16.7	14.2	13.0	5.6	3.5	0.4	12.8
	男性／40歳代	1,297	45.8	34.6	41.5	31.3	29.2	22.0	20.9	19.6	18.1	19.6	17.0	14.4	5.2	2.9	0.3	11.1
	男性／50歳代	962	47.5	37.5	38.4	35.5	29.9	26.3	20.2	18.4	18.4	13.8	18.6	14.8	5.1	3.6	0.3	11.2
	男性／60歳代	1,026	35.8	29.0	31.5	30.6	23.1	22.1	12.6	13.4	11.8	11.2	15.1	15.6	3.1	2.3	-	18.5
	女性／20歳代	843	47.6	26.5	32.3	32.7	29.7	14.8	28.0	22.2	23.4	14.3	14.1	9.5	4.1	2.6	0.2	8.8
	女性／30歳代	1,007	49.4	34.0	30.8	34.6	33.2	21.4	26.8	22.7	25.2	15.0	18.6	10.4	5.3	3.3	0.6	7.2
	女性／40歳代	1,259	51.8	37.2	29.3	31.5	30.5	27.8	22.2	24.2	22.3	15.2	13.7	11.0	4.8	2.7	0.4	8.5
	女性／50歳代	942	51.0	38.2	22.5	25.4	19.3	27.4	17.8	19.0	13.9	12.1	9.9	9.1	3.4	1.7	0.3	14.0
	女性／60歳代	1,087	40.8	30.9	15.6	20.3	17.2	24.5	8.5	9.5	8.1	8.3	9.5	5.9	1.6	0.4	0.3	24.3
圏域別	首都圏	5,900	49.3	37.6	30.3	29.7	28.1	23.7	22.7	19.0	15.7	15.9	16.6	13.8	5.8	3.1	0.4	11.8
	関西圏	2,856	40.7	22.8	35.8	31.5	25.8	22.6	17.1	19.0	21.4	11.8	11.7	8.6	2.3	1.8	0.2	14.7
	東海圏	1,581	42.1	37.9	27.4	30.0	23.0	16.0	14.1	16.6	20.4	14.7	10.7	9.9	2.2	1.7	0.1	14.6

単位:構成比(%)

太字 3圏域計より5ポイント以上高い項目

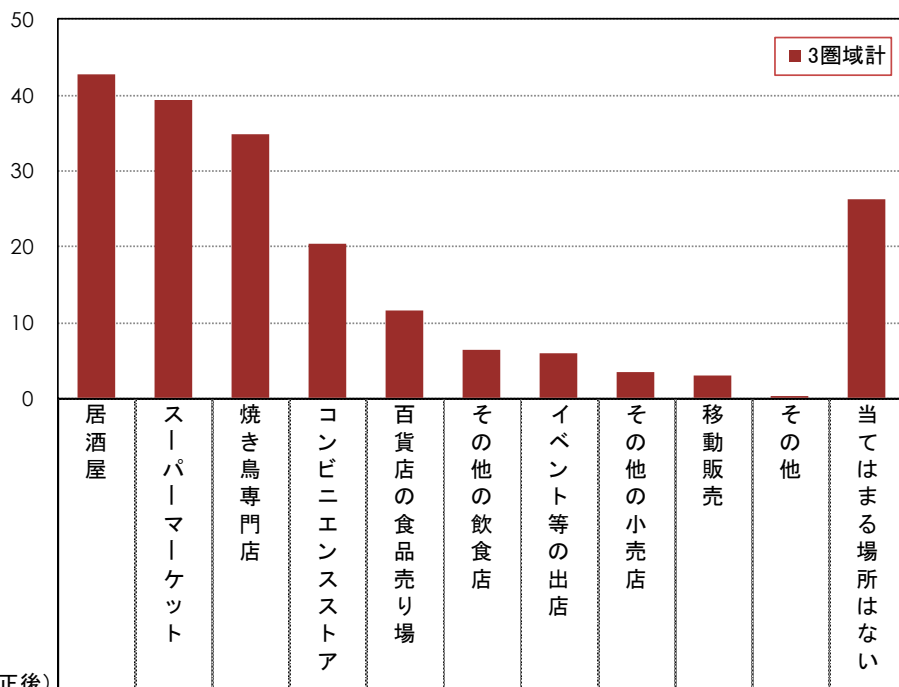
3圏域計より5ポイント以上低い項目

5. 過去1年間に焼き鳥を食べた場所、最多は「居酒屋」42.7%

過去1年間焼き鳥を食べたり、購入した場所を聞いたところ、最多は「居酒屋」で42.7%、僅差で「スーパーマーケット」が39.4%、そして「焼き鳥専門店」が34.9%、この3つが上位を占めた。特に20～50代男性と20代女性では「居酒屋」で食べたことがある人が約5割いて、高い比率を記録した。また、20・30代男性では「コンビニエンスストア」で購入した人が他の性年代より多かった。圏域別では、東海圏で「居酒屋」「焼き鳥専門店」「その他の飲食店」で食べたとする回答が他の圏域よりも少なく、焼き鳥を外食で食べる機会が少なそうだ。鶏料理としては揚げた手羽先の専門店が多い地域であり、焼き鳥人気は相対的に低いのかもしれない。

■過去1年間に、焼き鳥を外食で食べたり、中食で購入したことがある場所（全体／複数回答）

構成比(%)



(件数: 人※補正後)

		3圏域計	10,337	42.7	39.4	34.9	20.3	11.5	6.4	6.0	3.6	3.0	0.4	26.3
性年代別	男性／20歳代	878	49.6	35.5	34.4	27.5	9.8	10.4	5.5	3.6	3.5	-	-	26.7
	男性／30歳代	1,036	50.6	41.9	39.0	28.0	10.0	8.4	5.8	3.8	2.8	0.1	0.1	24.4
	男性／40歳代	1,297	53.4	40.8	38.4	22.3	10.1	7.5	5.5	4.6	3.3	0.2	0.2	21.5
	男性／50歳代	962	51.7	41.7	39.5	20.1	10.1	8.6	5.9	3.8	1.9	0.1	0.1	22.1
	男性／60歳代	1,026	43.4	35.4	31.6	11.6	7.5	5.1	4.0	3.0	2.3	0.2	0.2	30.6
	女性／20歳代	843	51.2	35.1	37.0	22.1	11.2	5.6	5.9	2.5	3.8	0.1	0.1	21.5
	女性／30歳代	1,007	38.5	43.1	35.9	22.5	14.3	6.9	9.6	3.5	4.4	0.5	0.5	23.9
	女性／40歳代	1,259	34.7	43.8	35.0	20.4	14.0	4.4	8.0	3.9	3.3	0.7	0.7	25.1
	女性／50歳代	942	32.8	41.7	32.1	18.8	15.8	4.2	6.5	3.5	2.5	1.1	1.1	30.0
	女性／60歳代	1,087	23.7	33.4	25.9	10.7	11.9	3.4	3.5	3.1	2.6	1.0	1.0	37.6
圏域別	首都圏	5,900	46.4	41.0	36.8	20.6	12.3	6.8	6.9	4.4	3.5	0.4	0.4	23.0
	関西圏	2,856	38.9	38.6	35.7	19.3	12.2	6.6	4.9	2.7	1.7	0.4	0.4	29.2
	東海圏	1,581	36.2	35.3	26.0	21.0	7.2	4.4	5.1	2.3	3.7	0.2	0.2	33.6

単位: 構成比(%)

太字 3圏域計より5ポイント以上高い項目

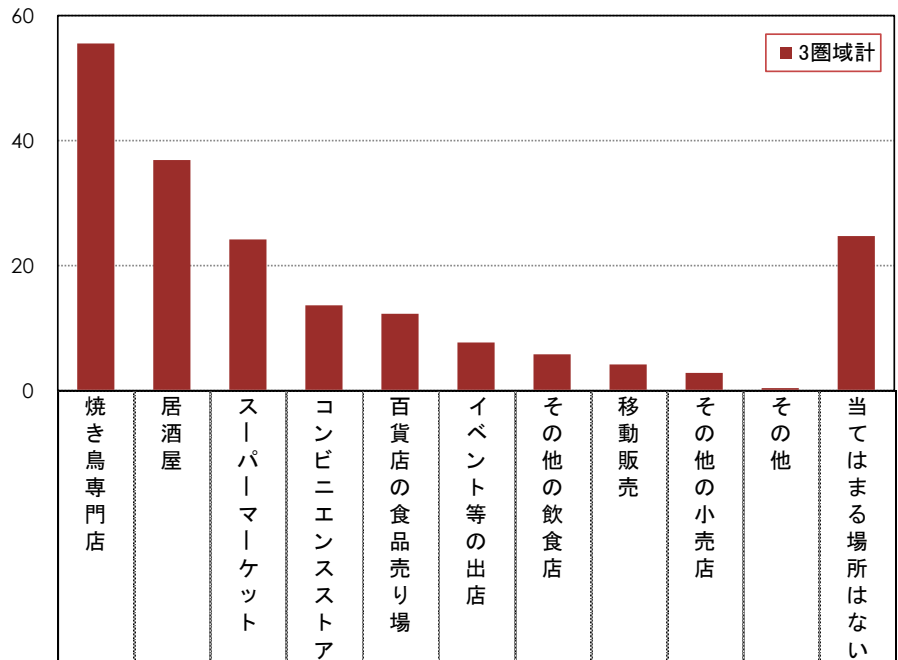
3圏域計より5ポイント以上低い項目

6. 今後、焼き鳥を食べたい場所は「焼き鳥専門店」が最多の55.5%

今後、どのような場所で焼き鳥を食べたり購入してみたいかという質問では、最多は「焼き鳥専門店」で、55.5%と全選択肢の中で唯一過半数を占める回答率であった。2位は「居酒屋」で36.8%、3位は「スーパーマーケット」で24.3%という結果であった。性年代別には、30・40代女性で「焼き鳥専門店」が6割を超える回答を集めた。また、男女の60代では、全体の1~4位までの「焼き鳥専門店」「居酒屋」「スーパーマーケット」「コンビニエンスストア」のいずれも、低い回答率となっており、この世代ではあまり焼き鳥の購入意向が高くないと考えられる。圏域別では、東海圏で「焼き鳥専門店」の人气が首都圏・関西圏よりも低い傾向にあった。

■ 今後、焼き鳥を外食で食べたり、中食で購入してみたいと思う場所（全体／複数回答）

構成比(%)



(件数:人※補正後)

		3圏域計	10,337	55.5	36.8	24.3	13.6	12.4	7.7	5.7	4.1	2.8	0.2	24.8
性年代別	男性／20歳代	878	48.7	43.5	27.1	20.5	10.5	8.1	8.7	5.9	3.4	-	-	28.1
	男性／30歳代	1,036	54.1	40.6	28.8	18.9	11.6	9.4	8.0	5.0	3.1	0.1	-	24.8
	男性／40歳代	1,297	55.9	44.7	25.6	14.6	9.9	7.4	5.6	4.4	2.7	0.1	-	24.1
	男性／50歳代	962	57.8	40.4	24.8	12.9	9.1	6.9	5.6	2.7	3.1	-	-	23.4
	男性／60歳代	1,026	49.0	30.6	18.1	7.2	6.9	3.2	3.8	2.2	1.9	0.1	-	29.9
	女性／20歳代	843	58.9	46.8	24.5	17.0	14.3	9.0	7.4	5.5	2.3	0.1	-	19.2
	女性／30歳代	1,007	62.2	38.5	27.1	14.6	17.6	10.6	6.0	6.2	2.6	0.3	-	19.1
	女性／40歳代	1,259	62.3	32.8	26.5	13.4	16.5	10.6	4.5	4.0	3.9	0.3	-	19.7
	女性／50歳代	942	57.2	31.8	24.3	12.8	15.6	6.4	4.9	3.4	2.6	0.5	-	24.6
	女性／60歳代	1,087	47.5	21.1	16.4	6.0	11.5	4.8	3.2	2.1	2.0	0.3	-	34.6
圏域別	首都圏	5,900	57.1	38.7	25.4	13.5	13.0	8.4	6.1	4.8	3.5	0.2	-	22.4
	関西圏	2,856	55.3	34.8	23.5	13.2	13.2	6.3	5.5	2.3	1.8	0.2	-	26.5
	東海圏	1,581	49.8	33.7	21.8	14.6	8.4	7.3	4.3	4.7	1.7	0.1	-	30.3

単位:構成比(%)

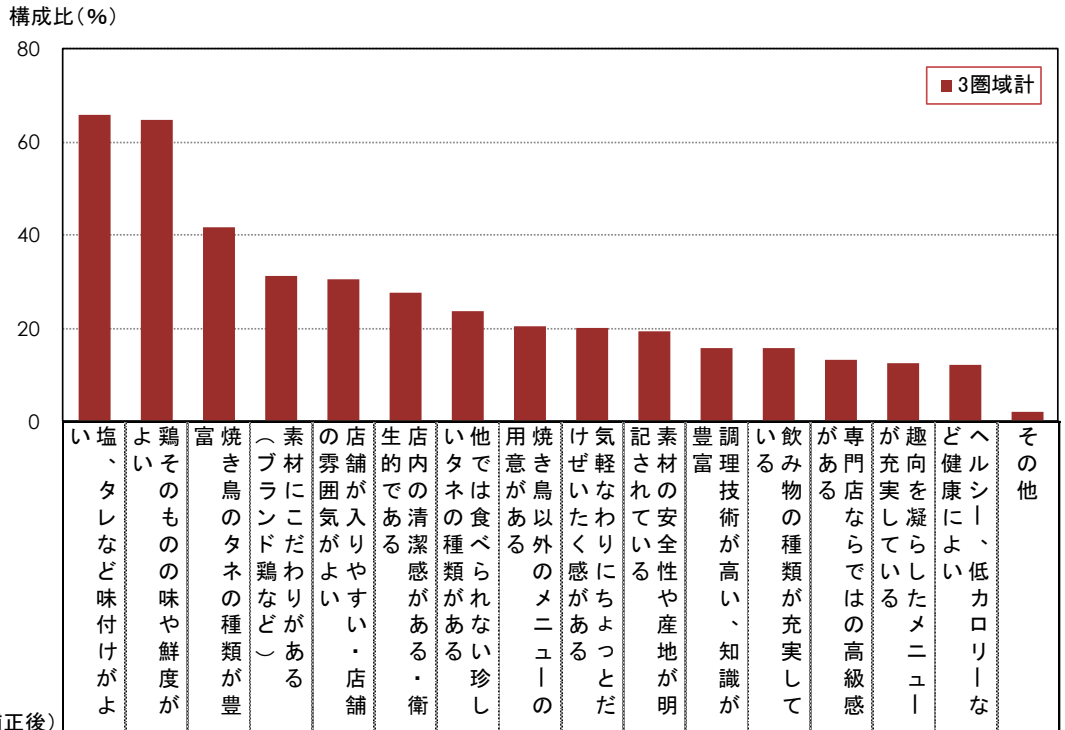
太字 3圏域計より5ポイント以上高い項目

■ 3圏域計より5ポイント以上低い項目

7. 「焼き鳥専門店」に期待することは「味付けがよいこと」が最多の65.9%

今後焼き鳥を食べたり、購入してみたい場所1位の「焼き鳥専門店」について、お店に期待することを聞いたところ、「塩、タレなど味付けがよい」が65.9%で1位。2位は僅差で「鶏そのものの味や鮮度がよい」で64.6%、3位は「焼き鳥のタネの種類が豊富」が41.7%であった。性年代別では、女性のほうが全体的にこだわりが強いようで、多くの選択肢で同年代の男性よりも高いスコアを記録した。また、20代男性では特に多くの項目で全体平均を下回るスコアとなっており、こだわりはあまり強くない様子だ。

■ 「焼き鳥専門店」について期待すること（全体／複数回答）



		(件数:人※補正後)	い	よ	富	焼	(素	の	店	生	店	い	他	用	焼	け	気	記	素	豊	調	い	飲	が	専	が	趣	ど	ヘル	そ		
			塩、	鶏	焼	焼	素	の	店	生	店	い	他	用	焼	け	気	記	素	豊	調	い	飲	が	専	が	趣	ど	ヘル	そ			
			、	の	き	き	材	の	舗	的	内	タ	で	意	き	ぜ	軽	記	材	富	理	る	み	あ	門	が	趣	ど	ヘル	そ			
			タ	の	鳥	鳥	に	の	が	の	の	は	は	が	鳥	いた	な	さ	の	富	理	る	み	あ	門	が	趣	ど	ヘル	そ			
			レ	味	の	の	こ	の	入	の	清	食	は	が	以	た	わ	れ	の	富	理	る	み	あ	門	が	趣	ど	ヘル	そ			
			ナ	付	味	種	だ	の	り	潔	べ	は	は	が	外	く	り	た	の	富	理	る	み	あ	門	が	趣	ど	ヘル	そ			
			が	け	や	類	り	が	や	感	ら	は	は	が	の	感	に	ち	の	富	理	る	み	あ	門	が	趣	ど	ヘル	そ			
			よ	が	鮮	が	い	す	い	が	あ	珍	し	の	の	と	よ	つ	と	の	富	理	る	み	あ	門	が	趣	ど	ヘル	そ		
			い	度	が	豊	あ	る	い	・	衛	い	珍	の	の	だ	つ	と	の	富	理	る	み	あ	門	が	趣	ど	ヘル	そ			
			が	が	が	が	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い		
3圏域計	10,337	65.9	64.6	41.7	31.1	30.6	27.7	23.7	20.4	20.2	19.3	15.8	15.5	13.3	12.6	11.9	2.0																
性年代別	男性／20歳代	878	58.8	56.3	39.9	24.8	21.5	17.3	23.1	14.5	17.4	11.5	13.1	15.6	14.0	16.0	9.9	1.9															
	男性／30歳代	1,036	62.5	61.0	39.9	30.0	24.6	20.5	26.9	14.3	17.8	14.1	14.0	15.1	11.5	13.0	8.0	2.0															
	男性／40歳代	1,297	65.0	63.2	41.7	31.1	26.3	20.7	24.0	15.4	16.6	12.1	16.8	15.0	10.6	11.9	8.3	1.6															
	男性／50歳代	962	65.8	63.8	40.7	30.2	25.7	20.3	21.5	19.6	18.3	14.0	15.3	18.5	12.6	9.6	9.0	3.3															
	男性／60歳代	1,026	62.6	60.4	38.8	29.3	26.2	27.3	16.0	20.9	17.2	19.0	14.7	16.3	15.5	8.9	9.1	2.0															
	女性／20歳代	843	69.5	63.3	48.9	27.3	36.2	33.8	30.0	23.9	23.8	17.1	14.2	18.8	14.2	17.3	12.2	1.6															
	女性／30歳代	1,007	71.6	71.7	50.0	36.9	34.9	31.0	30.5	23.5	24.6	24.1	19.0	15.3	12.8	15.4	13.0	2.4															
	女性／40歳代	1,259	71.9	69.3	45.4	35.2	36.7	32.8	27.7	26.9	22.7	24.9	17.0	17.6	12.0	13.4	16.2	1.3															
	女性／50歳代	942	70.2	70.1	40.2	31.9	39.2	36.8	21.2	24.5	20.9	25.0	15.0	14.1	13.9	12.9	17.3	2.4															
	女性／60歳代	1,087	59.9	65.2	32.8	32.2	34.9	37.0	15.9	21.0	23.0	29.8	17.7	9.4	17.0	8.9	15.9	1.9															
圏域別	首都圏	5,900	66.5	65.5	42.9	32.4	30.1	27.4	23.8	18.6	20.4	19.1	16.6	15.3	14.2	12.1	11.8	1.9															
	関西圏	2,856	64.8	65.0	41.2	30.7	32.6	29.3	23.9	23.8	20.6	20.3	15.6	16.1	12.9	13.9	12.4	2.4															
	東海圏	1,581	65.2	60.4	38.4	27.2	29.2	26.3	22.8	21.2	18.5	18.1	13.1	15.1	10.5	11.9	11.8	1.7															

単位:構成比(%)

太字 3圏域計より5ポイント以上高い項目

■ 3圏域計より5ポイント以上低い項目